

# 「合併で財政はよくなる」約束＝新市建設・財政計画とは大違い！ 日本共産党は「痛み押しつけとムダづかい」予算に反対

市長と与党会派が負担増の予算案を強行

## 日本共産党議員団はキッパリ反対

市長は「危機的な財政状況にある」として「市民局のスリム化を図る、行財政改革を各般にわたって速やかに実行していく」と痛み押しつけとムダ使い予算案を提案しました。

### 森 まさる市議 反対討論

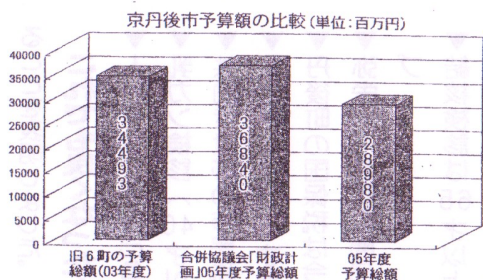
「合併すれば良くなる、サービスは高く、負担は低く」の約束をあざむく予算であり旧町で実施していたすぐれた施策を復活させることなく切り捨て、不要不急の事業が見直されていない。国が大増税、負担増を強行するなかで、暮らしの防波堤の役割を果たすべき市が、前年比で民生費1億7千5百万円、教育費4億2千万円も減らすなど、痛み押しつける予算に反対する。

### 松田せいけい市議 代表質問で追及

松田市議は「新市財政計画は市民への約束であり、合併の最大の理由であったはず」と指摘し、17年度予算案の問題点をすべく追及しました。特例債も活用して、毎年72億円から104億円の普通建設費が計画されましたが実際は、災害対策事業を含めても33億円程度（17年度予算。特例債は、将来返済しなければならぬ借金で、「使えないのでは」の追及に、市は公債比率（17年当初予算）は20%と赤信号であることを明らかにしました。市長は「歳入に合わせて歳出を決定せざるを得ない」と、市民サービスの切り捨てをすすめています。

### 市民局の強化こそ本当の改革

「子どもが減ったから学校を統廃合ではなく、子どもを増やす努力こそ真の『改革』でなければなりません」。また、市の周辺部をさびれさせるスリム化ではなく、「市民局は市民と接する『最前線』この強化こそ『改革』であり、市民へのサービス向上と、暮らし・福祉を守ることをこそ自治体の役割」であると具体例を示して提案しました。



《1町分が消えた》

### 平林ちえみ市議 反対討論

暮らしの資金貸し付け事業は、昨年実績39件を、25件に縮小する予算であり反対します。暮らし応援の予算が削られる一方で、不要不急の事業はすすめられています。今こそ市民の暮らしを守る予算へ切り替えるべきです。

### 予算賛成議員から「問題あり」の付帯決議

付帯決議案の賛成討論で、「原発交付金をこれまで通りなぜ受けないのか。飛天補助は緊縮財政といいながら1千万とは理解しがたい。市民の厳しい声を聞けば判断できること。新規事業のオペラ公演、中国との交流、遺跡発掘など今どうしてもやらなければならない事業か。市長は中止する勇氣、断る勇氣を」と発言しました。日本共産党議員団は、問題があるなら反対するか、修正案を出すべきであり、あいまいな決議に賛成できないことを表明しました。



日本共産党  
京丹後市議会だより  
日本共産党京丹後市会議員団

2005年 4月10日  
NO 3  
京丹後市峰山町荒山  
日本共産党丹後地区委員会  
Tel.0772-62-1159

中山市政の1年間を振り返り、市民の暮らしを守る「改革」すすめる日本共産党  
市議会報告会  
0とき 4月20日(水) よる7時30分～  
0ところ コミュニティホール(峰山総合福祉センター)

